

ケガの予防対策

長野市消防局内（長野市及び周辺3町村）では令和4年中、救急出動件数は**21,603**件でした。前年（令和3年）と比較して、**2,582**件増加しました。

また、ケガ等により救急搬送された方は、令和4年中、**3,171**人でした。令和2年は**2,719**件、令和3年は**2,982**件と**増加傾向**にあります。

ケガは不注意が原因で起こることも多いため、ある程度予防できると言えます。

実際にあつた救急搬送事例を見てみましょう！

80歳、女性。自宅で段差につまずき転倒。頭を打った。

※加齢とともに足が上がりにくくなります。注意しましょう！



70歳、男性。階段を降りている途中で踏み外し、転落。

腰を負傷した。

※手すりなどを利用し、ゆっくり昇り降りしましょう！

40歳、女性。床に落ちていたチラシに足を滑らせ、転倒。

腰を打ち、動けなくなった。

※室内を整理整頓し、床に物が落ちていないようにしましょう！



10歳、男児。歯ブラシをくわえながら歩いていたところつまずき

口の中とほほを負傷した。

※物をくわえながら移動するのは危険ですのでやめましょう！



7歳、女児。ローラースケートで遊んでいてバランスを崩し、後ろに転倒。頭を打った。

※ヘルメットやプロテクターを着用しましょう！



いかがでしたか？ 以上のような例を参考にさせていただき、ケガの発生を予防しましょう！

また、以下のような場合には迷わずに119番通報してください。

大量の出血を伴うケガ、広範囲のやけど、強い衝撃を受けた（大きな交通事故や高所からの転落）など、緊急性が高いと判断した時

最後にケガをしないための予防対策をご紹介します

生活環境の予防対策

- ・ 段差があるところは照明などで明るくする
- ・ 電化製品のコードは足元に這わせない
- ・ 路面状況(雨や雪など)に合った履物を履く
- ・ 一人で脚立や椅子に登って作業をしない



農作業中の予防対策

- ・ 耕運機運転中は、周囲の状況に注意しその場を離れるときはエンジンを切る
- ・ 電気工具等は説明書を読み、正しく使用する
- ・ 手袋、ヘルメットなどの防具を装着して作業を行う



お知らせ



長野市消防局では毎月救命講習会を開催しています。ケガや出血時の
応急手当を学べるものもありますので、是非、お近くの消防署、消防分
署にお問い合わせの上、ご参加ください。

担当 長野市消防局 東部分署 (026-222-0119)